

(様式8)

保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月31日

事業所名 ふじかわキッズ

保護者数(児童数) 11名 回収数 11名 割合 100%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 10 | | 1 | | ・中を見てもとてもスペースが広く感じます。 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | | | 3 | ・子供の様子などアドバイスも助かっています。 | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 1 | 1 | | 9 | ・細かいところまで把握できていません。 | 重度心身障害者対象外施設のため現在の施設設備で良いと考えている。必要に応じて改善していく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか | 11 | | | | ・苦手なところが伸びるよう作成されていると思います。 | |
| | 5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか | 8 | 1 | | 2 | ・色々なプログラムがあると思います。 | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | 1 | 1 | 8 | ・そこまではわかりません。 | |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 9 | | 1 | 1 | ・契約の時お話がありました。 | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 10 | 1 | | | ・送迎の際に子供の様子や課題を伝えてくれています。 | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 10 | 1 | | | ・モニタリングなどの面談時相談させてもらっています。 | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | | 3 | 1 | 7 | | 保護者会等必要という意見があれば立ち上げを検討していく。必要でない場合は現在のまま保護者会等は作らない。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 1 | | 2 | ・苦情については聞いたことがないのでわかりません。 | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 10 | 1 | | | ・送迎時情報伝達配慮されていると思います。 | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 9 | | 1 | 1 | ・年に数回のお便りが出されていると思います。 | |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 10 | | | 1 | | | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 5 | 1 | 1 | 4 | | 保護者への周知ができていない部分もあるので、検討をし周知徹底できるようにしていく。 |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 4 | | 2 | 5 | ・主に(土)利用のためわからない。 ・子供から訓練をしたことがあると聞いた。 | 抜き打ちで避難訓練を行っていきます。その際には保護者さんに(不参加利用者も含めて)伝えていく。 |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 6 | 3 | 1 | 1 | ・とても楽しそうです。 ・毎回楽しみにしている。 ・言葉がきつい時があり、子供が嫌がり、行きたくない時がある。 ・行きたいときもあれば、行きたくない日もあるようです。 | 支援、学習指導の際に声掛けや注意の仕方に気を付けて、職員同士でも声掛けを行い、楽しく有意義に来れる場所づくりを行っていく。 |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 9 | 2 | | | ・とても助かっています。 ・生きた学習をしてくれる。 ・満足しています。とても助かっています。 | |

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

(様式7)

事業所における自己評価結果(公表)

公表年月日:令和4年3月31日

事業所名 ふじかわキッズ

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | | |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 時間設定が難しいこともあるため、個別に伝えて情報共有している。 | 今後も勤務時間内で情報共有できるように密に連絡を取り合う。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 理事長を通して評価して頂けるようにしていく。 |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | | 標準化されたアセスメントツールは現在ないが、実態把握できるように保護者さんへの聞き取り等記入していく。今後改善が必要かは検討していく。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | | ○ | 学習と木工の特化のため固定させて活動している。 | 特化型で行っているため改善は行う予定がないが、長期休みなど楽しめる活動も行っていく。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | | ○ | 職員の勤務時間の関係で、次の日に振り返りや伝達等は行っている。 | 左記を今後も継続していく。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | ○ | | | | |
| 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | | ○ | | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議が行われている情報が現在ないため、関係機関に確認をしていく。参加可能なものには参加していく。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|-----------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | 医療的ケアを行う利用者が居ない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | 本年は一般就労のため学校に一任という形となった。 | 来年度利用者の状況で情報提供が必要な場合には行っていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | コロナ禍で実施することができなかった。今後も情勢を見ながら検討していく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | ○ | | 開催等の情報がないため参加できていない。情報収集できるようにしていく。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | ○ | | 保護者の相談には対応して相談にのっているが、ペアレントトレーニングまでは行っていない。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 父母会をつくっていない。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | コロナ禍で実施することができなかった。今後も情勢を見ながら検討していく。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | アレルギーの利用者には医師の診断書の提出を促している。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | | ○ | | 現在作成、検討中 |